

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	17149
課題名	AI等の活用を見据えた病理組織デジタル画像（P-WSI）の収集基盤整備と病理支援システム開発に関する研究
研究期間	西暦 2017年11月29日～30年3月31日
研究の対象	日本病理学会北海道支部標本交見会として2009年から2017年までに収集した病理標本バーチャルスライド（Pathology Whole Slide Imaging, P-WSI）データ
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細：P-WSIデータおよび交見会で提示された年齢・性別・既往歴・臨床経過・採血結果・画像所見などの情報、等） <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他（ ）
外部への試料・情報提供	<input type="checkbox"/> 自施設のみで利用 <input checked="" type="checkbox"/> 多施設共同研究グループ内（提供先：日本病理学会）（提供方法：旭川医科大学病院病理部の専用回線を用い、日本病理学会のデータ収集サーバに送付します。データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。また、データは連結不可能の状態で行います。） <input type="checkbox"/> その他（提供先： ）（提供方法： ）
研究組織	日本病理学会北海道支部に所属し、標本交見会に症例を提示した施設。 主たる研究機関：一般社団法人日本病理学会（理事長 深山 正久）
研究の意義、目的	人工知能（Artificial Intelligence：AI）の利活用の一環として、P-WSIデータを収集・集約し、これを活用して病理医人材育成のための病理診断精度管理ツール、病理診断支援ツールを開発する。
研究の方法	日本病理学会北海道支部の症例検討会（標本交見会）で検討され、これまで蓄積されてきた匿名化された標本200件のP-WSIデータを収集し、これらを専用回線を通じて日本病理学会データ収集サーバに送信します。各標本の患者情報は、検討会で用いられた資料に基づきますが、これらは資料作成時においてただちに個人を特定できないよう加工し、匿名化されています。研究期間は、実施承認日から平成30年3月31日を予定しています。匿名化したデータはパスワードロックのかかった外付けハードディスクで保管します。
その他	
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

旭川医科大学病理学講座腫瘍病理分野

〒078-8510 北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1-1

電話 0166-68-2372 Fax 0166-68-2379

研究責任者：

旭川医科大学病理学講座腫瘍病理分野・教授・西川 祐司

研究分担者：

旭川医科大学病理学講座腫瘍病理分野・講師・山本 雅大